

一般社団法人新発田青年会議所 2026 年度 委員会基本方針	
会員開発委員会 委員長 石井 大地	
会員開発委員会の取り組む課題と背景	新発田青年会議所の会員数はこの 10 年減少傾向にあり、現在は最盛期の約半分以下で活動しています。地域の少子化も進み、2015 年からの 10 年間で青年世代が約 3 万人減少しているデータから、今後拡大がより困難になることが予想されます。しかしそのような時代だからこそ、地域に貢献する次世代のリーダーを育成、輩出する青年会議所の存在が必要不可欠です。そのために会員開発委員会が先頭に立って、新たな拡大方法を模索し実践して仲間を増やしつつ、メンバーの資質を向上させていくことを目指します。
会員開発委員会の考える理想の未来	メンバーそれぞれが新発田青年会議所の一員としての自覚を持って活動に取り組み、地域から信頼され頼りにされる存在となり、他団体との積極的な連携を通じてつながりの輪を広げ、その広がりが新たな仲間の参加につながり、さらに組織の活力を高め追求していく未来。
会員開発委員会の果たすべき役割	<p>1. 会員拡大活動 今の新発田青年会議所も会員数は最盛期の半数以下です。今後も継続して活動するために、単発の拡大事業ではなく年間を通して継続した拡大活動が必要です。</p> <p>2. 新入会員のフォロー・参加促進 新入会員のときに多くの活動に参加し、青年会議所がどういった組織か理解してもらうことが 2 年目以降積極的に参加する原動力になります。対内と対外両方の活動に参加してもらうための環境の構築が必要です。</p> <p>3. 資質向上事業の企画・実施 地域課題解決のために一丸となる魅力溢れる新発田青年会議所の実現に向け、運動を継続するために必要な資質をメンバーに身につけてもらい、会全体の資質向上を図ることが必要です。</p> <p>4. 卒業式事業の企画・実施 現役メンバーと卒業メンバーが最後に行う事業が卒業式です。現役メンバーは卒業生の今までの活動に感謝を示し、卒業メンバーは自身の想いを現役メンバーに引き継いでいく、この後にも続く絆を深めることができます。</p> <p>5. 持続的な会員拡大に向けた取り組みの調査・研究 新発田青年会議所が活動を始めて 68 年が経ち、地域の姿や青年経済人の考え方も変化しています。従来通りの方法が難しくなっている今、青年会議所として根幹はそのまま、時代に合った拡大方法を検討し次世代につなげることが必要です。</p>
【事業計画】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>会員拡大活動</li> <li>新入会員のフォロー・参加促進</li> <li>3 月例会（資質向上事業）の企画・実施</li> <li>12 月例会（卒業式）の企画・実施</li> <li>持続的な会員拡大に向けた取り組みの調査・研究報告</li> </ol>	